

情勢報告

収穫まであとわずか！！ 東川酒米研究会の現地巡回検討会



粒が太いぜよ

安芸市東川酒米研究会は、9月6日に現地巡回検討会を開催し、生産者や酒造会社を含む関係者17名が各圃場を巡回し、意見交換した。

振興センターからは、圃場巡回をふまえて今作の気象と栽培状況の関連を説明した。その後、収穫時期、方法等について協議した。田植え期の天候不良により生育の大幅な遅れが心配されたものの、各圃場ともに順調に生育しており、生産者からは「収穫が楽しみ。今年こそ1等が採れるのでは？」という声が聞けた。

秋冬期には振興センターは、東川酒米研究会、酒造会社、JAや安芸市と連携し、消費拡大に向けたイベントに参加していく。

安芸地区の環境保全型農業の取組について職場研修



座学と現地

部署間を越えて職場内の業務内容を共有するため職場研修を開催した。

1回目は、9月13日に基盤整備課、総務企画課の職員を対象としてこれまでの環境保全型農業への取組経過や土着天敵を活用した防除例について研修を行った。

また、近年急増している土着天敵温存ハウスを視察し、害虫のタバココナジラミを捕食するタバコカスミカメなどを見て触れて理解を深めた。

次回は、9月末に基盤整備課の事業内容やため池等の設置状況について、農業改良普及課職員が研修を受ける。

ナス‘土佐鷹’勉強会（現地検討会）を各地区で開催



暑いなか、熱心に意見交換が！

‘土佐鷹’勉強会を各地区（安芸：9月16日23名、穴内：22日10名、赤野：27日15人、10月1日：芸西予定）で行っている。

勉強会では、振興センターが初期の樹づくりのために灌水、追肥、摘葉・誘引管理について講習を行った。その後、現地圃場を数カ所巡回し、実際に生育状況を確認しながら、現在での生育状況の判断とこれから必要な栽培管理など助言指導を行った。

参加した生産者からは生育状況を見ながら、あちこちで栽培に対しての意見交換が活発に行われていた。